

第6回 人★インタビュー Season2

水戸支部 水戸市 根本行政書士事務所

～根本 則昭先生インタビュー～

長年、豊富な知識と熱い情熱で行政書士を牽引してくださっておられる根本則昭先生。若手の先生の質問の場である水戸支部フリートーキングに毎回ご出席くださり、惜しみなく知識とご経験を伝えてくださいます。また、行政書士有志の勉強会も開催され、常に行政書士のスキル向上に貢献しておられます。

今年5月の定時総会においては、これまでの業績が称えられ、「茨城県議会議長感謝状」が贈呈されました。

今回は、いつも全力で行政書士を応援してくださる根本則昭先生の事務所に訪問し、お話を伺いました。

(聞き手 通信員 宇野 雅彦)

【通信員】先生が行政書士を志したきっかけを教えてください。

【根本先生】前職はJA全農いばらきに勤めておりました。県内の農家さんのために働いておりました。また、私は代々農家の家系で、農業に精を出す父母を見て育ちました。その中で、もっと農家さんの応援をしたいと考えるようになりました。その時、行政書士という職業が幅広く農家さんを応援できることを知り、開業することにしました。

【通信員】開業されてからは、どのような業務を取り扱っておられますか。

【根本先生】起源が農家ということもあり、最初は農地法関係の申請を中心に業務を行っていました。一時期は水戸市の農地法関係の申請の2分の1を扱っていたこともあります。その後、開発申請も数多くこなすようになりました。開業後10年位したところから、建設業や産廃処分業のお客さんも増えてきて、そのお客さんを応援するかたちで、様々な申請を取り扱うようになりました。



事務所の入り口には「水戸藩代書処」の看板が！
水戸の行政書士であることの誇りが感じられます。



駐車場から事務所の入り口にかけて、『街の法律家行政書士「応援隊」』の幟旗が！
根本先生は、いろんな方々を応援されております。



根本則昭先生。熱烈なアントラースファンで、ワンシーズンの全てのホームゲームを見に行かれたことも！

【通信員】 業務をおこなう上で、大切にされていることはございますか。

【根本先生】 お客様としっかりとコミュニケーションをとることが、とても大切と考えています。例えば、依頼者のお住いの土地の特産品や時事情報などは、事前にチェックして会話が弾むように心がけています。それと、お客様をしっかりと応援することも大切です。行政書士は、幅広く申請や法律問題に関わることができる士業です。いろいろな形でお客様を応援することができます。

【通信員】 根本先生といえば、応援という言葉が浮かぶほど、様々な人々を応援されていらっしゃると思います。これまでどのような応援をされてきましたか。

【根本先生】 建設業のお客様が増えてきて、いろいろ苦労されているお話を聞くようになりました。そこで、当時行われていました県知事との意見交流会に応募して、お客様の意見を伝えるようにしておりました。なんとかお客様を応援したいと思い、若いころはそのような機会があれば、水戸はもとより県北や県南へも積極的に出かけて行きました。

【通信員】 きっと皆様心強く思われていたと思います。今、特に力を入れて応援していることはございますか。

【根本先生】 今は、地元水戸の人たちを応援したいと考えています。そこで、水戸在住のいろんな立場の方々と水戸市議会議員の方々をお招きして、「どうする水戸」と題して、様々な問題の解決策を議論したりしております。例えば、先日は「ふるさと納税」をいかに増やすかについて、勉強会

を行いました。これからは、地元水戸を元気にするために頑張っていこうと考えています。

【通信員】 勉強会といえば、根本先生は、「行政書士有志の会」（行政書士スキル向上の勉強会）のお世話もされておられます。私も参加させていただきましたが、とても勉強になりました。

【根本先生】 行政書士である国会議員、県議会議員、市議会議員の皆様も参加してくださり、貴重な講義をしてくださるので、大変感謝しております。これからも行政書士のスキルアップに貢献できるよう、また、行政書士として見聞きした実情を伝えていく、いわば政治との仲立ちのために、勉強会のお世話をしたいと思います。

【通信員】 今後、勉強会のテーマとしたい分野はございますか。

【根本先生】 現在、都市計画法の要綱が複雑化したことにより水戸市の発展を阻害しているように思われます。そこで、水戸市が発展するためにはどうすればよいか、エリア指定区域の拡張等に対応することはできないか、というテーマで勉強会をしたいと考えております。

申請の専門家としての側面を持つ法律家である行政書士として、多くの人々にこのテーマを考える機会を作りたいと考えております。

【通信員】 線引きされた昭和46年からは立法事実も変わっていると思われます。水戸市の発展のため、根本先生の勉強会に期待しております。

ところで、これらの勉強会は、根本先生の事務所の隣に建てられた「ねもスタ」という多目的ルームで行われておりますが、入口の写真を拝見しますと、クラシック、ジャズ、落語、ソムリエ講座



「ねもスタ」では、勉強会からコンサートまで、様々なイベントが行われております。

など、いろんな活動をされているんですね。

【根本先生】 私は、人が喜んでくれると自分も元気になれますので、様々な方々を応援してきました。例えば、地元の音楽関係の新人さんの演奏の機会を増やすために、車屋さんと交渉してショールームコンサートを企画したり、県下最大級の賀詞交歓会である「千鳥会」でコンサートをできるように手配したりしました。

このようにマッチングを企画する中で、さらに活動の手助けをしたいと思い、「ねもスタ」を作りました。

【通信員】 他にも根本先生は、ミニコミ誌を作成しておられます。法律の説明や農産物の紹介など、楽しくてためになるお話に溢れています。これをボランティアでなさっていると聞き、頭が下がる思いです。

【根本先生】 情報化社会の中で、一般の人たちにとって情報を得ることはなかなか難しいと思います。そこで、ミニコミ誌を使って役立つ情報を皆様にお伝えしたいと考え、作成を始めました。現在ミニコミ誌は、1日と15日に地元の新聞に折り込まれております。読まれた方から感想を聞きますと嬉しくなりますし、元気になります。いつも楽しんで書いております。

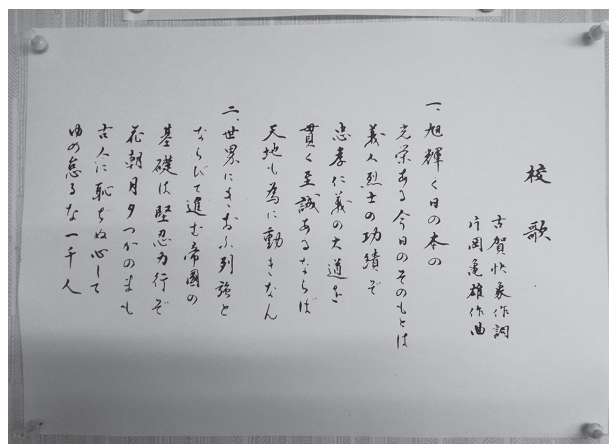
【通信員】 ミニコミ誌で連載されていた、あ行から順に紹介されていた「茨城弁の解説」は、実践的な使用例も記載されており、本にして欲しいと思う程の情報量と完成度でした。

最後に、新人行政書士の方々に対して一言お願いします。

【根本先生】 私は、母校(水戸一高)の校歌の歌詞がとても気に入っており、それに勇気づけられ仕事をしてきました。

明治41年から歌い継がれている歌詞は素晴らしく、「貫く至誠あるならば、天地も為に動きなん。」という部分は、座右の銘であり、仕事上の信念でした。

新人行政書士の先生方も、なんでも良いので信念をもって、仕事に取り組んでもらいたいと思います。そして、関わったいろんな人達を応援してもらいたいと思います。小さなことでも、まず動くことです。行政書士は、それが出来る素晴らしい士業です。



事務所に掲げられている水戸一高校歌



奥様とご一緒に！

いつも真摯にご相談にのってくださる根本先生。取材当日も、いろいろなお話をお伺いすることが出来ました。近所の神社で猿回しの芸人さんが来た際、お腹を空かせているだろうと興行期間中の1週間毎日お弁当を届けられたお話や、申請を通すために悩まれ、夜に申請地まで行って「何とか申請可能にする方法はないか」と考えられていたというお話など、先生のお人柄がにじみ出ているようなエピソードを沢山お伺いしました。どのお話も思いやりに溢れており、周りの方々と一緒に喜びを分かち合おうとされておられます。そして、根本先生に常に寄り添い支えてらっしゃる奥様の存在も大きく思われました。

ご多忙にもかかわらず、快く取材をお引き受けくださり、誠にありがとうございました。そして、いつも応援してくださり、厚く御礼申し上げます。

これからもお二人ともお元気で、行政書士、水戸市、及び様々な人達の応援隊として、益々ご活躍されますことを心よりお祈り申し上げます。